



ニューズレター あすか

2007
4月号

通算 169 号

2007 年 4 月 1 日

4月1日からあすかに二つの
地域密着サービスがスタートします。

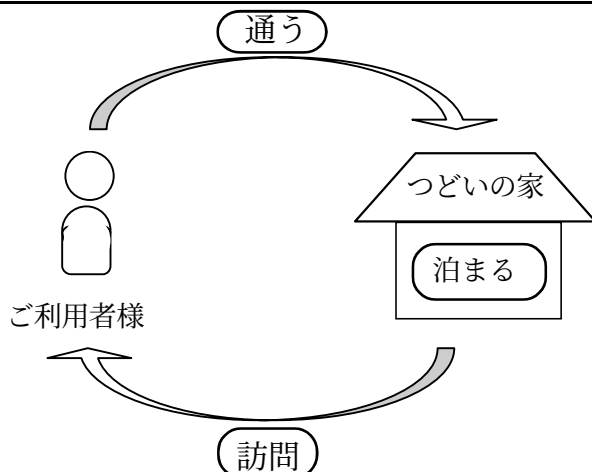
2006年4月、介護保険制度が大きく変わりました。介護保険サービスの利用者の急増により、国は介護にかかるお金を節約し、かつ介護サービスの質を上げるための制度の見直しを行いました。その主な内容は、

- ① 居住費、食費は原則入所者負担となり利用者の経済的負担は大きくなった。
- ② 予防重視型のシステムが誕生し介護予防事業がスタートした
- ③ 地域密着サービスが創設された

などがあります。このうち、地域密着サービスとしてあすかにスタートするものが、認知症対応型通所介護事業所「野ばら」と小規模多機能型居宅介護事業所「つどいの家」のふたつです。

「つどいの家」

地域密着サービスとは、「住み慣れた地域を離れることなく、それでいて施設のような24時間365日の安心を得ることが出来る」サービスをイメージしたものです。地域の中で、通う・泊まる・訪問、住む機能を作ることを目的としています。この特徴をよくとらえたサービスを提供



するのが小規模多機能居宅介護事業所「つどいの家」です。
これは今までの介護サービスにはなかった新しいサービスです。仕組みとしては、「通い」を中心としながらご利用者様の状態に応じて「泊まり」に対応したり、通い・泊まりを利用しない日でも必要に応じて「訪問」して様子をみたり電話で様子を伺ったりとさまざまな支援を行うものです。ご利用者様の状態に応じて臨機応変・柔軟に対応していきます。

【目次】

【ページ】

1. 愛と笑いのチカラ⑦……………2
2. 経過報告
3. 理美容出張サービスのご案内
4. おもしろきかな我が人生
～内藤 操子さん～……………3
5. あすか事業所だより……………4
6. かるやんちょーくの音楽療法 ……5
7. 私たちが作りました！
8. 委員会だより② ……………6
9. あすか4月のロードショー
10. 若竹句会 2月作品抄 ……………7
11. デイサービスにおける口腔機能向上のためのプログラム……………8

苗代へ
わかるる水の
目高かな



書道参加のご利用者様作
カレンダー

つどの家の基本理念は次の通りです。

1. お年寄りの気持ちに向き合い、寄り添う

・本人の願いや希望を受け止め、それを叶える方法を考えます。

・そのため、単なるサービスの組み合わせを提供するのではなく、柔軟にサービスの形を変化させます。

2. 24時間365日、切れ目なく暮らしを支える

・小規模多機能型居宅介護のサービスの基本は日中の通いですが、本人の状態や家族の状況に合わせて継続した支援が提供できる体制を整えます。

3. お年寄りが望む暮らしができるよう、支援の内容を調整する

・本人の役割や地域の方々との関係を維持・継続できるよう、家族や地域社会との関係まで見据えた関係調整(ケアマネジメント)を行います。

「野ばら」

物忘れが始まり、ちよっと日常生活に不自由が生じはじめた方のためのデイサービスが「野ばら」です。「野ばら」はしゅりあちよーくの地階に開設されます。

「野ばら」特徴は、

- ① 通所の定員が1日12人と規模が小さく、毎日同じスタッフ、同じご利用者様でなじみの関係を作りやすくゆったりとした時間を過ごすことが出来ます。
- ② 食事やおやつ作り、畑仕事、手仕事など今まで培った技能を発揮していただき、暮らしの喜びと自信を取り戻すことができます。
- ③ 買い物や外出を積極的に行い、地域や自然とふれあいながら秘められた可能性を発見していきます。
- ④ 経験ある職員を配置し一人ひとり、その人らしさを発揮できるケアを実践します。
- ⑤ 見る、聞く、味わうなどの心地よい刺激を大切にした環境作りを行います。
- ⑥ 木曜日も通常時間のデイサービスを行います。

経 過 報 告

☆セルフケアプログラムについて☆

要支援1,2の方のセルフケアプログラムが進行しています。ご自分で立てた目標を目指してがんばっています。Aさんは「3ヵ月後にはハーモニカで吹く曲を声に出して歌いたい」「6ヵ月後にはハーモニカで好きな曲を吹けるようになりたい」という目標を立て、一生懸命大きな声で歌う練習をしていらっしゃいます。

みなさんが立てた目標が達成できるようスタッフ全員で応援していきます。今後定期的に目標達成度をチェックしていきます。一緒にがんばりましょう。

☆みどりの木 介護保険外サービスについて☆

保険外サービスが定着してきました。通常のサービスのあとに草むしりや窓拭き、照明器具の掃除など保険内サービスでは出来ないサービスを行なうこともよくあります。今月は、通院の付き添いが多くありました。

理美容出張サービス

4月のご案内

- ・しゅりあちよーく 2日(月)
- ・まやるちよーく 9日(月)
- ・ショートステイ 11日(水)





「教師・嫁・看護婦・・・
それぞれの思い出が
あります」

大正7年8月26日生まれ(89歳)

お住まい…安佐南区高取北

趣味…読書、草抜き

●保健婦を目指す

私は三次市和知町にて、8人兄弟の4番目に生まれました。実業学校を卒業した頃、広島叔父の娘がチフスにかかってしまったため、私がこの家に下宿して家の手伝いをするようになりました。毎日毎家の手伝いと看護ばかりさせられたものだから我慢ができず、この家を出て寄宿舎のある保健婦の養成所に通うことにしたんです。この家では苦勞ばかりでしたが、保健婦の仕事に興味を持ったのは看病がきつかけだから、おかしなものです。

●教師として

養成所を卒業後は、三良坂の小学校で養護教員をしていましたが、至誠高等学校から熱心なお誘いがあったんです。その女学校には「月(出た出た月が…)」の作曲で有名な童謡作家・葛原しげる先生が、東京から疎開して戻り校長をされておられ、葛原先生を慕って各地から生徒が入学してきました。私は、この女学校に移り保育と保健を担当すると同時に、寄宿舎の舎監もやっていました。寄宿舎にはいろいろな生徒がいましたが、印象に残る子がいましたよ。この子は「汚い」言うてトイレ掃除をまったくやらないんです。部屋ごとにグループを決めて当番制にしてもダメ、私もどうすればいいか悩みました。そこである日「よし！先生と一緒にしようや」と声をかけました。最初は渋々でしたが、それ以来トイレ掃除をやるようになりました。大人になって連絡をくれた時に「先生、厳しくしつけてくれてありがとう。今に

なって先生が教えてくれたことがわかります。」と言うてくれたんです。その子は郵便局長のお嫁さんになったんですよ。他の生徒も、今でも連絡をくれたり贈り物をしてくれたり。卒業して何十年も経つのに、嬉しいものですね。

●30歳・結婚

当時は戦争中で、私は仕事にも夢中だったため晩婚になってしまいました。中だったため晩婚になってしまいました。したが、30歳で主人とお見合い結婚し、家庭に入りました。嫁いだ先(庄原)には、長男の主人の下になんと7人の妹・弟がいました。1番下の子はまだ小4。この家は一町四反の田んぼを所有、牛などの飼育もしていましたので、私は朝から晩まで農作業に明け暮れ、しかも義母が体を壊していましたので、7人の妹・弟はほとんど私が母親代わりで育てたようなものでした。自分の子供(一男一女)もできましたから、本当に大変でしたよ。結局私が40歳の頃分家して主人とこの家を出て、1番下の弟が後を継ぐことになったんです。主人も教師をしていましたが百姓は向いていなかったようで、代わりに弟の方が器用で百姓に向いていたようです。

●看護婦になる

百姓をやめてから、「何もせんのもしんどい、何かええことはないか」と考えていたら、ちょうど三次病院で看護婦の募集をしていたんです。精神科・老人内科があったのですが、実

に「人生いろいろ」な人々が来院してきます。学習院まで出た男前の青年もいました。真面目すぎて精神を病んでしまったのでしょうか。親も人目を気にしてこんな山奥の病院に入れたんです。私は青年に「もっとユーモアを持ちなさい。恋愛のひとつくらいしたらいいんよ」とよく声をかけていました。

●まやるちょーくへ

主人はケアハウスに入所中ですが、私も2年前に体を壊して、広島叔父夫婦の家に同居することになりました。しばらくしてこの隣りの家を購入して、娘の世話になりながら安心して暮らしています。まやるちょーくに参加してからは、人に会えることがとても嬉しいんです。いろんな人と会話をしていると気が晴れるので、楽しみに通っています。



▶三次病院の看護婦時代(50代半ば)

内藤さんのやさしい声と笑顔は、かつて養護の先生だった面影が感じられ、思わず「先生！」と呼びたくなります。これからまやるちょーくで楽しい時間を過ごしてくださいね。

まやるちょーく介護職員 富永さゆり

☆しゅりあちよーく☆

今年も

毘沙門台小学校 との交流会

2/16・20

毘沙門台小学校の4年生がしゅりあちよーくにやってきました！ゲームでは、こどもたちと一緒に風船を追いかけたり、あやとりを教えあったり本当に楽しい時間を過ごしました。

児童がお礼に「あなたにありがとう」という歌を歌ってくれました。子どもたちの澄んだ歌声と感動的な歌詞に涙を流されるご利用者様もいらっしゃいましたので歌詞をご紹介します。

しゅりあちよーくのご利用者様からは前もって作っていた竹とんぼをプレゼントしました。竹とんぼはこの日を楽しみに作りました。ご利用者様と児童の交流がより深まった楽しいひとときでした。

子ども達が歌ってくれた歌の歌詞

♪あなたにありがとう♪

あなたがーいたからがんばってこられたんだね
ひとりぼっちならとうにくじけてた
あなたがーいたからげんきでいられたんだね
いつもはげましてくれてたからだね
どんなーときもーささえてもらったから
つらいこといやなこといつしかわすれてたー
あなたにありがとう ありがとう ありがとう
いつまでもだいじなたからもの
そばにいたこと



☆ショート☆

だんごDE
ひなまつり

3/3

3月3日のひなまつりのショートのイベントは『だんごDEひなまつり』！

お団子を手作りし、白折れ（お茶）と一緒に頂きました。

白玉粉と絹ごし豆腐でお団子を作りました。この団子にきな粉やあんこをまぶして出来上がります。団子が茹で上がる時間が待ち遠しくてあんこをつまみ食いされた方も…。『団子は昔より作ったよね』と皆様懐かしんでおられました。



浮いてきたらもう、そろそろええかねー



いろんな形があるのも楽しいよねー！

☆まやるちよーく☆

城南中学校 職業体験

2/15

広島市立城南中学校の2年生の女の子3名がまやるちよーくにやって来ました。リハビリと音楽療法に参加しました。感想を聞くと「緊張してしゃべれなかった。」「リハビリを頑張られていた。」「何を話していいのかわからなかった。」「

平生お年寄りとふれあう機会がないので、しょうか、大分緊張をしていたようです。それでも楽しかったようで、この機会がこれからの彼女たちの人生に何か実りをもたらしてくれることを願っています。利用者の方もご自分の孫のようにやさしく接していらっしゃいました。



▲ リハビリと一緒に参加！

まるちゃんちの音楽療法

即興の時メンバー
さんが叩いている
打楽器



右：ボンゴ
左：ジャンベ
下：ハンドドラム

かるちゃんちでは、言葉によるコミュニケーションが困難になった方を対象にした音楽療法を行っています。人は自分の思いをうまく伝えられなくなると孤独感が深まり、不安や緊張にさらされ、そのことが、ますます症状を進行させてしまうという悪循環になってしまいがちです。認知症の方の精神活動（感情、訴え）は認知症でない人と同じく多彩で豊かです。私達と何ら変わりはないのです。そこで、「言葉」等の表現手段を失いつつある方と、音楽を使ったコミュニケーションをやってみようと考え、打楽器を使って即興演奏をやってみることにしました。即興というのは決められた楽曲を演奏するのではなく音やリズムを言葉と同じように自由に使って自己表現していただくものです。

普段ほとんど話をなさらない方もセラピストと対峙して、まず互いの視線が合い、最初の一打が打たれると、互いの音を聴きあい独創的なリズムで“会話”のような音楽が紡ぎ出されます。音楽が終わる時も「サン、ハイ」と声を出して終るのではなく、相手の叩く音の間隔や目の動きで互いに「じゃ、そろそろ：」「そうですね：」等と暗黙の合図でうまく終ることもあります。私はこれを「言葉を越えた会話」と思っています。また、時には“怒り”を表現される方もおられます。言葉に出来ない怒りを音楽で表現される事も“発散”という意味で大切な事と思います。このように心が通い合った中で生み出される演奏は素晴らしいです

一人の方が演奏している間、他の方も手拍子したり、拍手が出たりしますのでメンバーさんどうしのつながりも見られます。演奏が終わると、達成感からか、笑顔も見られます。

これからも、メンバーさんの可能性を見つけ出し、その素晴らしい表現活動にお付き合ひさせて頂こうと思っています。

音楽療法講師 杉丸 七重



【民族楽器】
蛙の鳴き声など自然音を楽しんでもらっています



椅子の
背もたれを
カバー

私たちが
作りました！

昨年10月～12月にかけて、まるちゃんちパッチワークグループのみなさんが共同作品として、椅子の背もたれカバーを製作しました。

ご利用者様に頂いた不要のネクタイを使って、キルトと組み合わせた個性あふれる作品が完成し、早速使用させていただきます。



委員会だより②

感染対策委員会より

春の気配が漂う季節となりました。桜の開花ももうすぐですね。

今回は、医療法人あすかでの、感染予防対策とその結果についてお知らせします。

1. 感染性胃腸炎（ノロウイルス）対策

ノロウイルスによる胃腸炎は昨年10月頃より全国的に流行し、テレビ、新聞などで報道されていきました。広島市でも施設での集団感染例が多数報告されました。感染対策委員会では次のことを話し合いました。

- ① 手洗いの徹底
- ② 汚物、吐物の処理方法の徹底：ポスターを作成し各部署に配布
- ③ ショート・病棟では、食物の持ち込みをお断りする貼り紙を作成
- ④ 利用者の皆様の体調変化に注意し、必要なときは医師の診察を受けていただく
- ⑤ 職員は各自、健康管理に努める
- ⑥ 感染症に関する最新情報の収集

これらのことを職員全員が一丸となって行った結果、集団感染もなく、利用者の皆様も毎日元気に過ごすことができました。

感染性胃腸炎の流行

時期には、職員一人ひとりの予防意識の高まりを感じました。「こ

うしたら？」とか、「こんな時にはどうすればいいの？」など、職員からの問題提起もあり、感染対策委員会としては、とても嬉しく、また頼もしく感じました。

2. インフルエンザ対策

ご利用者様、職員のインフルエンザワクチンの接種は昨年11月末には終わりました。

今年は例年より暖かい日が続く、インフルエンザの流行が遅れていますが、油断することなく、手洗いやうがい、室温・湿度の管理など予防に努め、集団感染が起こらないよう注意していくことを申し合

わせました。
また、新型インフルエンザに関して

も、情報収集に努め、予防対策を検討していきます。



これからも施設内での感染症の流行がないように、感染対策委員会をはじめ職員全員で取り組んでいこうと思います。

感染対策委員 日高洋子

予防第一!



あすか

4月のロードショー

【キネマの天地】



あらすじ

山田洋次監督が映画に夢を賭けた若き活動屋たちを豪華キャストで描いたサクセスドラマ。映画館で売り子をしていた小春は、蒲田撮影所の監督から女優になることを勧められ、志すようになったが、演技の経験はほとんどなく幾多の困難にぶつかるが・・・。

♪ この映画は☆ショートステイで4/22（日）☆

☆まやるちょーくで4/23日（月）・24（火）☆

☆しゅりあちょーくで4/27（金）・28（土）☆に上映します。

各事業所では上映する映画についてのアンケートを実施中です。皆様のご希望により新しい映画もどんどん上映していきます。各事業所のシアター開催曜日は下記の通りです。

しゅりあちょーく	まやるちょーく	ショートステイ
★毎週火・金・土曜日	★毎週月・火・金・土曜日	★毎週日曜日

若竹句会二月作品抄



ふわふわの 白きシヨールや 初詣 はつもうで

栗根 年雄

〔寸評〕「ふわふわ」は、広辞苑によると、多量の空気を含んで押しても抵抗がないほどやわらかくふくらんでいる様をいうとあります。こんなに沢山の字を並べなくても四字の擬態語で、しかも日常語をそのまま使うことで、若い女性の華やいだ初詣姿がうまく表現されています。

たて 風あがる 天にふるさと あるごとく

伊木 幹枝

〔寸評〕風は「いかのぼり」とも言い、春の季語。4月に行われる長崎の風揚げは有名です。「いかのぼり 百間の糸 上がりけり 河東碧梧桐」という句のように上っていく糸の感触から詠み上げた一句であろう。

毛糸玉 残さず集め 冬籠 ふゆごもり

益田 佐登子

〔寸評〕冬籠りは毛糸編みでという作者の決意がみえる一句です。この句「冬籠り」も「毛糸」も冬の季語。「一句一季語」に反して気になるところですね。でも、同じ気の季語を重ねていても、重点が一方にハッキリしている場合には問題とするに当たらないといわれています。この句の重点は明らかに「冬籠」にありますので、これを「季重ね」といいます。



「季重ね」はなるべく避けた方がよいとされています。念のため。

久方に 我が家に寄れば 実南天 み

石井 鶴子

〔寸評〕久しぶりに実家を訪れた作者は、庭前の南天が一本だけ赤い小さな実を群がりつけ、静かな冬の日に照り映えている。こんな情景が浮かんでくる一句です。

冬枯の荒れた庭を予想してただけに救われた思いもしのべれます。

落ち葉焚 灰の中から いもが出る

山縣 龍三

〔寸評〕いもは誰が仕込んだんでしょうねー。作者本人かも? 「いもが出る」としたところが、この句の俳諧味(おどけ)といえるでしょう。

下五を「いも探す」と「いもが出る」とどちらにするか、考えてみるのも俳句上達の一手段です。

信廣高陽 選 (平成十九年)

遠き日に 思ひを馳せる 夜半の冬 よわ

花北 乃里

〔寸評〕「夜半の冬」とは、冬の夜ふけのこと。眠れぬままに、回想にふける寒く、ひっそりとした情景をしのばせる一句です。

お正月 家族揃って お座敷に

河野 一枝

〔寸評〕一見平凡にみえる一句ですが、考えてみると一家打ち揃ってお座敷に並ぶことはめったにありませんね。中七、下五が極く自然に表現され、誰にでも理解できるお正月の一句です。



賀状来る ポストの音に 目が笑ふ

常広 信枝

〔寸評〕バイクの音とともに、郵便受(ポスト)に投入される年賀状の音、元旦らしい発見を感じとった作者の目がすばらしい。

初夢の 山に登りて 一人ゆく

大北 政子

〔寸評〕「富士三鷹三茄」の一富士には及ばないが「山登り」の初夢とはすばらしい。一步一步足もとを固めながらひたすら頂上を目指す。グループで楽しむ方法もありますが、重いリュックを担いで黙々と登山を楽しむ人も多いのです。この句、何かいいことありそうな新年の佳句。



選者 吟

竹刀手に 面を小脇に 寒北斗 しなひ こわき かんぼくど

信廣 高陽

第24回安佐医学会報告

安佐医学会で「医療法人あすか」から発表した最後の演題です。

【デイサービスにおける

「口腔機能向上のためのプログラム」を
実施して第2報

あすかにおいて積極的に取り組んできました口腔ケアの報告を行いました。内容は、A. 口腔機能向上のプログラムとしてどのようなことを実施しているか B. 評価方法 C. 何が見えてきたのかを報告しました。口腔機能の指標として

① オーラルディアドコネシス（10秒間に何回パ、タ、カ、と言えるか）

② RSST（30秒間に空嚥下が何回できるか）を使用しました。次に、スライドの一部を示しました。今後とも口腔機能改善に努力をしていきたいと思います、

歯科衛生士 河原 奈津

結果

- 年齢、介護度、認知症の有無、参加回数にかかわらず、3ヶ月後の口腔機能はほとんどが向上していた。
- 年齢と口腔機能の関連性ははっきりしなかった。
- 要介護度と口腔機能は比例していた。（図1）
- HDS-Rと口腔機能は比例していた。
- 参加回数と口腔機能との関係は週6回の参加者に最も向上がみられた。（図2）

考察

- 口腔機能を維持すれば介護度、認知症重症度も維持できるのではないか。

デイサービス参加回数とRSST

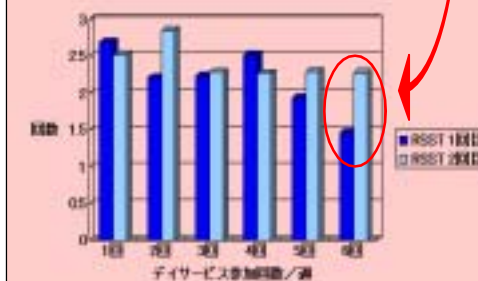


図2

要介護度とRSST

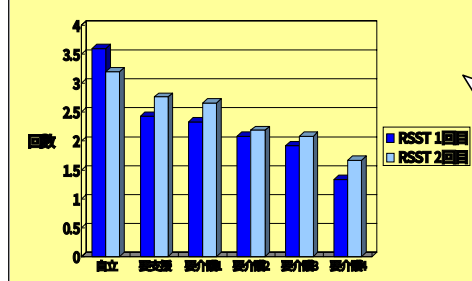


図1: 要介護度と口腔機能は比例

要介護度が高い方ほど口腔機能は悪いが訓練により向上する

医療法人あすかの理念・3s

～当法人はISO9001の認証施設です～

1. **Specialist**（専門家）：職員は、医療、看護、介護の専門家（Specialist）としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。
2. **Sympathy**（共感）：職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し（Sympathy）必要なサービスを継続的に提供します。
3. **Safety**（安全）：職員は、患者様と利用者様の健康と安全（Safety）に対して細心の注意を払います。

【編集後記】

☆ 土手にはかわいい土筆の姿もみられるようになり、春めいた季節になってまいりました。皆様、この冬感染性胃腸炎やインフルエンザにはかかりませんでしたか？当施設では、現在感染がなく喜んでいます。これも、感染対策委員会をはじめ職員による予防の徹底によるものだと思います。

まだ油断できないインフルエンザですが、ご利用者様には当施設で元気に楽しく過ごして頂きたいと思っております。

発行元：医療法人あすか

（編集：浜本 正美 ・ 富永 さゆり）

住所：〒731-0103
広島市安佐南区緑井2丁目12-25

ご相談はお気軽に
あすか居宅介護支援事業所
082・830・5177
高橋内科小児科医院
082・879・3143
あすか通所介護事業所
あすか通所介護事業所
あすか通所介護事業所
あすか短期入所生活介護事業所
あすか訪問介護事業所
あすか福祉用具貸与事業所
082・830・5177
082・870・3800
082・830・0552
082・870・6700
082・830・5177
082・830・5177

“ニューズレターあすか”は当法人のホームページ上でも見るができます
<http://www.asuka-net.or.jp>

高齢者の在宅療養を支援します